

平成 30 年度 第 4 回学校運営協議会記録（概要）

1. 開催日時 平成 30 年 12 月 21 日（土）午後 5 時 30 分～午後 6 時 30 分
2. 会場 立川市立第九小学校 応接室
3. 参加者 古川茂一 塚田真恵 荒井千秋 井口拓志 末次圭子 鳴島広之
小林邦子 長久保昌典 南枝弘之 野尻迅人

4. 内容

<会 長> 司会

前回の協議会は委員と教員の合同で行われ、意義あるものとなった。2 学期、お疲れ様でした。

<副校長> 資料確認

(1) 校長挨拶

- ・前回お集まりいただいた道徳授業地区公開講座以降も、いろいろな行事があった。4 年生のバリアフリー車いす体験、2 年生が 1 年生に手作りおもちゃの遊び方を教える子供広場、1 年生が 5 歳児と遊ぶなかよしランドなど。研究発表では、本校が取り組んできた ICT 教育の集大成を発表した。ICT 教育を効果的に進めていると好評であった。くわのみ学級では、4 校交流会が行われた。
- ・今日は、学校評価の速報値として大体をお知らせする。

(2) 2 学期までの学校の取組や様子について

①校長より

- ・（資料の説明）

学校評価について、そう思う、およそそう思うを合わせた数値を昨年度のものと比較した。アンダーラインを引いた部分が昨年度よりも伸びたものだ。

子供からの評価では、多くの項目で改善が見られた。教育目標を知っている、一生懸命行事に参加、一生懸命クラブ活動に参加、学力・体力を付けられる、授業が分かる、授業が楽しい、道徳で考えが深まった、地域や学校のよさを感じる、体を動かすことが好き、いじめや暴力が起きない努力、忘れ物をしない、すすんで挨拶のいずれも向上し、中学校との違いに対する不安は 10%減少した。顕著な伸びは、道徳の考えの深まりで 6%、次いで体を動かすことが好きの 5%、学力・体力を付けられる、授業が楽しい、すすんで挨拶の 4%向上である。

逆に減少したのは、時間や決まりを守る 6%、毎朝朝ご飯を食べている 5%、優しい言葉遣いで話しているの 4%減少である。

保護者からの評価は厳しい結果となった。安全、安心な環境、学校行事の充実以外は下がっている。保護者や地域との連携は 6%減少、いじめや暴力根絶の取組は 8%減少だが、二つとも学校では力を入れており、もっと取組についてお知らせせねばと思う。その他、優しい言葉遣いが 12%減少、すすんで挨拶が 5%減少という結果だった。

当初の目標値に照らした結果については、分かる授業については、児童評価 90%で達成、読書の充実は、児童評価 83%で達成、体力の向上は、児童評価 78%で未達成、運動への親しみは、児童評価 86%で達成。

生活習慣については概ねよい結果が出た。学校の決まりを守るについては、児童評価 82%で達成、すすんで挨拶や優しい言葉遣いは、児童評価 87%で達成、言葉遣いは、79%で未達成、いじめや暴力をしないは、児童評価 82%で未達成、地域や学校の特色ある教育につ

いては、児童評価 82%で達成、道徳での考えの深まりは、児童評価 80%で達成、学校生活についての広報は、保護者 85%で達成である。目標に達した項目が多いが、未達成の項目やそう思わないと回答された方たちの声を聴くよう心がけていく。

②副校長及び教職員より

・（副校長）

学校生活は、全体として落ち着いている。九小祭では味噌を完売し、来年に向けて5年生が味噌の仕込みを終えた。今年は2クラスなので、仕込みの量が減り、寂しい。10月1日の台風でソメイヨシノが危険な状態になった。教育委員会施設係からの連絡もあり、子供が心配なので切ってもらった。

（校長）

ソメイヨシノは、枝を軽くして樹木の傾きを減らした。味噌は、樽は2つになったが、材料費は少なくなった。教育長も来校され、味噌づくりをご覧いただいた。保護者・支援者に大勢来ていただき、ありがたかった。

（生活主幹）

保護者が3日間で延べ60人くらい来てくださった。

・（教務主幹）

台風の影響で運動会が中断し、残りを火曜日に行ったが、その際減少した授業時数は、2学期内に補填した。

・（生活主幹）

学校評価の結果については、いじめの取組など3学期に挽回する。皆様の力を貸していただきたい。最近困っているのはSNSとお金の扱いである。

子供も携帯やスマホは危ないと分かっている。最近のゲームはネットにつながっており、家に居ながら複数名で遊べる。他の子が楽しんでいるのに自分だけ抜ける訳にはいかず、ダラダラと続く。夜中まで続けて、朝起きられず遅刻というケースも出てきた。

お金については、九小ルールでは、お金を持って遊びに行かないことになっている。しかし、トラブルが起きてみて、お金を持って遊びに行っていることが分かる。市内の小学校の9割が、お金を持って遊びに行かないルールをもっている。3学期には、家のルールやお金の使い道の把握の仕方について、保護者に伺いたい。

(3) 学校の取組に対する意見交換

○小学生は80%以上スマホを持っている。ネットにつながったゲームは抜けられない体制になっていて、深刻だ。ネット上で会話もしている。知らない人ともゲームや会話ができる。

⇒子供たちは自分たちだけの中につながっており、外の人を入れていない。

⇒ご飯よ～、お風呂よ～と言われてもゲームを止めずにやっている。大勢がやらないという体制を作る。ネットにつながったゲームをやらない子を大勢にすることが大切だ。

ゲームに関するルールを作っている家庭の方が、ゲームをやっている時間は少ない。

⇒ゲームをみんなでやると、そこに入れたい子へのいじめ、仲間外しがあるのでは。そうした事例を聞いたことがある。

⇒親としても指導が難しい。学校にルールがあると強く言えるが、ないと強く言えない。

親が気付くことができない場合もある。

⇒ルールを子供に伝え、啓発していく。使わない日を決めるのがよい。

⇒家庭学習にタブレット端末を使っている子もいる。粘り強く使い方を発信していくしかない。

○学校評価のアンケート結果は、わかりやすくできている。言葉遣いが後退しているとのことだが、詳しく知る手だてはあるのか。

⇒子供は、子供自身の感覚でアンケートに答えている。学年、学級ごとに、細かく見る必要がある。

⇒低学年から高学年へと成長していくと、言葉遣いは多少荒くなる。子供が境目にいる場合、親は前より悪くなったと判断してしまう。挨拶ができていないと言う親自身、挨拶ができていない。

○学校の時間のクラブ活動が見えないという意見については？

⇒九小は和太鼓クラブの活動が突出している。それ以外のクラブやうちの子はどのような、という評価になるかもしれない。

⇒今年、九小ではホームページ担当者がクラブの様子をできるだけ掲載するようにしている。アピールが必要かと思う。

⇒以前から見れば、九小は総体的によくなっていると思う。上を目指すのは大変だ。アンケートの回答率が高いのは、親の関心の高まりを示している。意味があると思う。

⇒お金も、以前はもっと課題があった。持ってこないと遊ばないといったこともあった。おごっている子は、友達の歓心を買いたい心理がある。お金を持っていかないというルールをクラスで作ったり、家庭ごとの小遣い額を伝え合うことも、保護者会で話題になった。今は、ずいぶんよくなっていると思う。

⇒いつの時代でもあるのでは。子供同士でお金を持っていかないということが必要だ。今は、子供同士で大きな店に行ける。

⇒クラスごとの違いがあると難しい。学年で揃えるといったことが考えられる。今は保護者会で金銭のことは話題にならない。

⇒お金の使い方を考えなくてはいけない。家によって違う文化がある。何でも学校で解決することはできない。

⇒PTAの講習会の話題は、去年も今年もSNSだった。親の関心も高く、危機意識もある。大きなトラブルは聞こえてこない。困り事を相談できていると思う。お金、いじめも早めに認知して、長く継続しないようになっている。

(4) その他・今後の予定等（次回の学校運営協議会について）

<副校長>

- ・次回、第5回運営協議会は、2月9日（土）15:00～16:30。
- ・教育委員会から、各委員にアンケートが配られる可能性がある。

<会長>

- ・五中学区のコミュニティスクールとしての体制が立ち上がった。できれば、このメンバーで来年度も進めていきたいということを諮りたい。

*異議無し。

<会長>

- ・もう1年、同じメンバーでこの協議会を続けていきたい。
- ・他に連絡がなければ、本日はこれで終わりにする。

以上